

ロンドン、2018年10月23日

中国の武漢順楽ステンレス向け新型電気炉 EAF Quantum 2 基とツインレードル炉 2 基を受注

- 溶鋼 1 トン当たりの電力消費量を大幅に低減、操業コストと CO₂ 排出量を削減
- 溶解間隔の大幅な短縮化

プライメタルズテクノロジーは、中国の鉄鋼メーカー武漢順楽ステンレス有限公司（Wuhan Shunle Stainless Steel Co. Ltd.：武漢順楽）から湖北省のステンレス製鋼所向けに新型電気炉 EAF Quantum 2 基とツインレードル炉 2 基を受注しました。この電気炉は、さまざまな組成や品質のスクラップ鋼を処理できるよう設計されています。スクラップの余熱により、電気炉の消費電力は大幅に低減され、操業コスト及び CO₂ 排出が削減可能です。ツインレードル炉は、生産対象鋼種に対する鑄造温度を設定どおり正確に制御します。この新型電気炉は、2019 年度の第 3 四半期に稼働する予定です。

武漢順楽は、ねじ用鋼、線材、鋼管、炭素鋼、合金鋼、ステンレススチールおよびその他の製品を製造・販売する鉄鋼メーカーです。当社は、自動スクラップヤード管理機能、自動挿入プロセス、自動ランス酸素吹き込み装置および砂充填処理を含む新型電気炉 EAF Quantum とツインレードル炉の機械・電気処理装置全般に加えてインダストリー4.0（Industry 4.0）に対応するレベル 2 のオートメーションを納入します。

当社が開発した新型電気炉 EAF Quantum は、実績あるシャフト炉と革新的なスクラップ挿入プロセス、高効率予熱システム、新しい傾動方式を持つ下部容器、最適化された溶解システムを装備し、出鋼間隔の大幅な短縮を実現します。従来の電気炉に比べ電力消費量が大幅に低減され、電極と酸素の消費量を低減もあいまって、全体で約 20% の処理コストの低減ができます。全体の CO₂ 排出量も従来の電気炉に比べて、粗鋼 1 トン当たり最大 30% 削減されます。



プライメタルズテクノロジーズの新型電気炉 EAF Quantum

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2018101710jp